



クローズアップ CLOSE UP

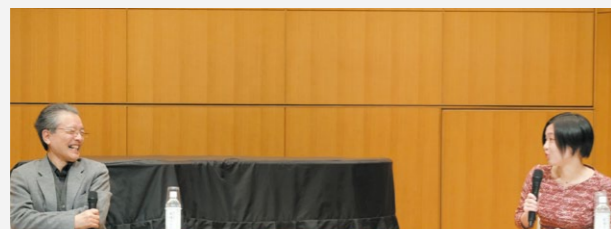
身体表現の公園が開園

2月2日から18日までアーツ前橋で、演劇や音楽、ダンスなどの身体表現の練習や発表ができる「公園デビュー」を開催。ルールを守れば誰でも参加が可能。国際的に活躍する灰野敬二さんのパフォーマンスのほか、さまざまな体を使った表現が集いました。



笑って納得俳句のこつ

市制施行125周年と前橋商工会議所創立120周年を記念して「夏井いつき句会ライブ」を開催。テレビ番組にも出演する俳人・夏井さんが俳句の作り方のこつなどを話しました。歯に衣着せぬ物言いが人気の夏井さん。会場は笑いに包まれ、楽しく俳句を学びました。



言葉は魔法使いの杖

2月11日、前橋文学館で若い芽のポエム20年の記念トークを開催しました。第9回中学生の部金賞受賞者で本市出身の作家、阿部智里さんと萩原朔美館長が対談。作家になったまでの経緯や、著作『八咫烏シリーズ』の裏話などに、来場者は感心しきりでした。

県民と警察を結ぶ音のかけ橋に

音楽を暮らしの安全に生かす
警察官
田中鷹平さん・36歳



県警交通機動隊員の田中さん。交通の安全を支えながら、県警音楽隊員としても活躍している。

「音楽隊には昨年4月から所属しています。以前から憧れていたのが、配属が決まった時は胸が高鳴りました」

隊での担当はバリトンサクソフーン。初体験の楽器だが、高校時代から約10年間、ロックバンドで音楽活動をしてきた。

「プロとしてCDの全国販売もしました。ただ、警察官だった父の影響で、幼い頃から警察官になるのが夢でした」

その思いが年々強くなり、8年前、警察官に。そして、市内の駐在所に配属されている。

た時、経験を生かして交通安全や防犯の歌を作った。

「啓発の場面で歌い始めたところ、大きな反響を得ました。作った歌を小学生が歌いながら下校しているのを見た時はうれしかったですね」

「うたうおまわりさん」として注目を集めた田中さん。今は34人の音楽隊員と共に、小学校やイベントなどで、年間約60回演奏している。

「私たちの活動が県民と警察を結ぶ音のかけ橋となり、交通事故や犯罪の防止につながるよう頑張っています」

子どもからお年寄りまで楽しめる音楽。今後も安全安心につながる音を奏でていく。

地元食材を使っておいしく パッと まえばしレシピ

市内の栄養士で構成する「たけのこの会」考案レシピ。地元食材を使用した手軽に作れる前橋の味を紹介します。最終回は「つぶつぶいちごゼリーミルクかけ」。市内で栽培する県産品種「やよいひめ」で、春を感じてください。

問 だけのこの会・田中さん
027・251・4825

※このレシピはレシピ検索アプリ、クックパッドにも掲載しています。



最終回

つぶつぶいちごゼリー ミルクかけ

前橋でとれた新鮮なイチゴをたっぷり使った、パフェのようなデザートです。
(1人分)エネルギー138kcal、たんぱく質17.2g、塩分0.3g

材料・分量 (4人分)

イチゴ…200g
砂糖…80g
レモン汁…大さじ1
水…200ml

A 粉ゼラチン…10g
水…大さじ4
牛乳…200ml
ミントの葉…適量

作り方

- 1 Aのゼラチンを分量の水に入れ、湿らせておく。イチゴは半分切る。
- 2 鍋に1のイチゴを入れ、スプーンで粗くつぶし、砂糖、レモン汁、水を入れ、火にかける。
- 3 沸騰する直前で火を止め、ゼラチンを加えてよく溶かす。鍋底を氷水に当て、冷ましてからパットに移し、冷蔵庫で冷やし固める。
- 4 固まったら、スプーンなどで崩してグラスに入れ、牛乳を注ぐ。お好みで、ミントの葉をのせる。

ポイント

イチゴをスプーンで粗くつぶすことで、程よくつぶつぶ感が残ります。完熟のイチゴを使うと、色がよりきれいです。

レシピの生い立ち

イチゴソースがベースのゼリーなので、そのまま食べても良いし、お好みのフルーツなどをトッピングして豪華にしても楽しめるデザートを考えました。



レシピ検索No.1
料理レシピ載せるなら
クックパッド